NIEワークシート／小学校高学年～高校生／ 社会・総合

名前【　　】

神戸新聞 2020年08月21日 金曜日 面名 朝一 １４ 1ページ

藤井 最年少二冠

王位奪取、18歳1カ月

木村に4連勝、八段昇段

将棋の第61期王位戦7番勝負（神戸新聞社主催、伊藤園協賛）の第4局が20日、福岡市の大濠公園能楽堂で指し継がれ、午後4時59分、挑戦者の藤井聡太棋聖(18)が木村一基王位(47)を80手で破り、4連勝で初の王位を獲得した。（3面に「人」、3、29面に関連記事）

第61期 王位戦 第4局

藤井新王位は18歳1カ月で棋聖と併せて二冠となり、羽生善治九段(49)が打ち立てた21歳11カ月の最年少二冠の記録を28年ぶりに塗り替えた。藤井新王位は同時に八段にも昇段し、加藤一二三（ひふみ）・九段(80)が作った18歳3カ月を62年ぶりに更新した。

最年少記録を次々に塗り替え、歴代1位の29連勝の記録も持つ藤井新王位は、詰め将棋で鍛えた終盤力に優れ、通算勝率は8割を超える。今年7月16日には史上最年少で初タイトルの棋聖を獲得していた。

藤井新王位は、今期の王位戦で予選を勝ち上がって初の紅白リーグ入り。リーグ白組で5戦全勝し、6月の挑戦者決定戦でも永瀬拓矢二冠(27)に勝って挑戦者となった。7番勝負では、第1局（7月1、2日）で鋭い寄せを見せ、第2局（同13、14日）は逆転勝利。第3局（8月4、5日）も攻めの力を発揮した。19、20日にあった第4局でも、敵陣に鋭く踏み込み、正確な着手で相手の攻めをかわして勝利を挙げた。

木村前王位は前期、史上最年長で初タイトルとなる王位を獲得し「中年の星」とも呼ばれた。今期は初防衛を目指したが、1期で失冠した。

最年少で二冠を達成し、記者会見で色紙を手に笑顔の藤井聡太新王位＝20日午後、福岡市内のホテル

藤井　聡太（ふじい・そうた）　2002年7月19日生まれ、愛知県瀬戸市出身。杉本昌隆八段門下。16年10月、史上最年少の14歳2カ月でプロ入り。デビュー以来、公式戦29連勝を果たし、歴代1位を記録した。18年5月に七段昇段。朝日杯将棋オープン戦で18、19年に連覇。20年7月、第91期棋聖戦5番勝負で渡辺明棋聖（当時）を3勝1敗で破り、史上最年少の17歳11カ月で初タイトルを獲得した。

① 藤井棋聖が破った相手は誰ですか。

［　　］王位

② 最年少二冠の内容をまとめましょう。

［　　］歳［　　］カ月で棋聖と併せて二冠となり、［　　］九段が打ち立てた［　　］歳［　　］カ月の最年少二冠の記録を［　　］年ぶりに塗り替えた。

同時に［　　］段にも昇段し、［　　］九段が作った［　　］歳［　　］カ月を［　　］年ぶりに更新した。

③ この記事の感想を書きましょう。

［　　］